

# 令和3年4月人事異動・組織再編

## 1. 異動人数

426人(内 消防115人)  
新規採用職員 30人

## 2. 特徴

桑名市総合計画後期基本計画が2年目を迎え、重点プロジェクトの推進、社会情勢の変化に対応するため、市の行政組織の一部を再編します。

# 令和3年4月人事異動・組織再編

## 3. 組織・機構の見直し

### ①危機管理室を新設

市民環境部環境安全課生活安全対策室を、市長直轄組織へ移管し、防災・危機管理課に危機管理室として設置します。

これまでの交通安全・防犯・暴力追放に係る啓発に関する業務などに、新たに不当要求に関する業務を加え、関係部署だけではなく、組織的な対応をとる体制を整備します。

# 令和3年4月人事異動・組織再編

## 3. 組織・機構の見直し

### ②債権管理課を新設

収税対策室を債権管理課へ改め、税と税以外の徴収困難事案について一元管理を行うための部署として設置します。税以外の事案については移管する形をとり、負担の公平性を図るとともに、一元的に管理することで効率的に歳入確保の推進を図ります。

# 令和3年4月人事異動・組織再編

## 3. 組織・機構の見直し

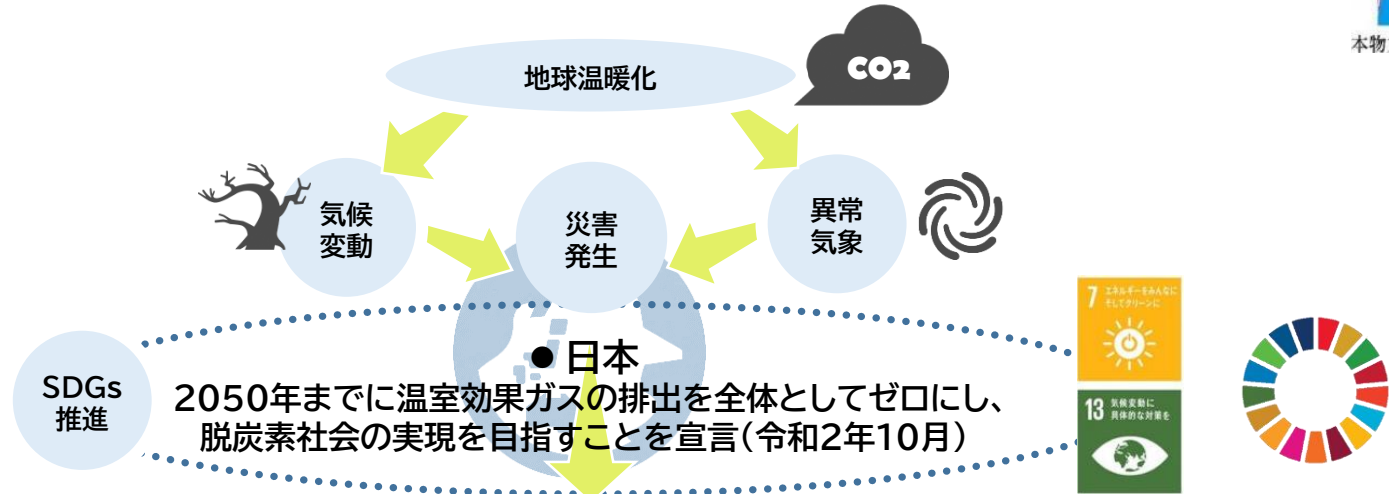
### ③ グリーン資産創造課を新設

行政改革や公共施設マネジメントに関することに加え、新たに環境負荷のないグリーン社会を目指し公共施設における脱炭素に向けた業務や、脱炭素社会の実現に向けた環境施策の立案に取り組みます。

# 桑名市ゼロカーボンシティ宣言



本物力こそ桑名力



## 桑名市ゼロカーボンシティ宣言

2050年までに桑名市からの二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す

令和3年4月 グリーン資産創造課

環境と経済の好循環を生み出す社会を目指す

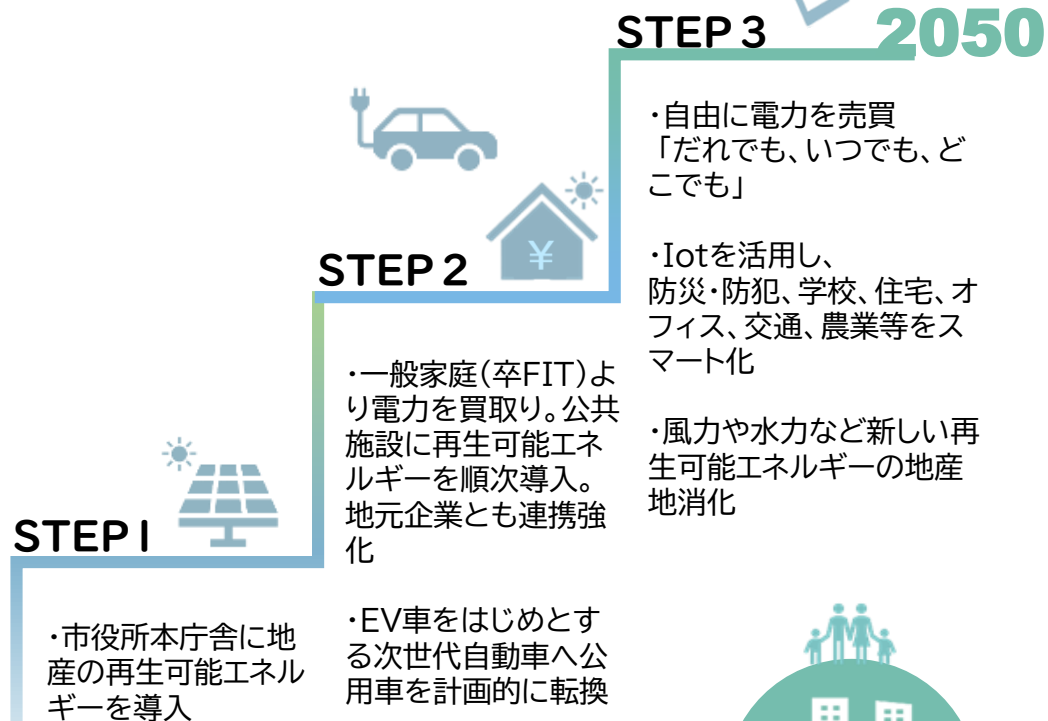
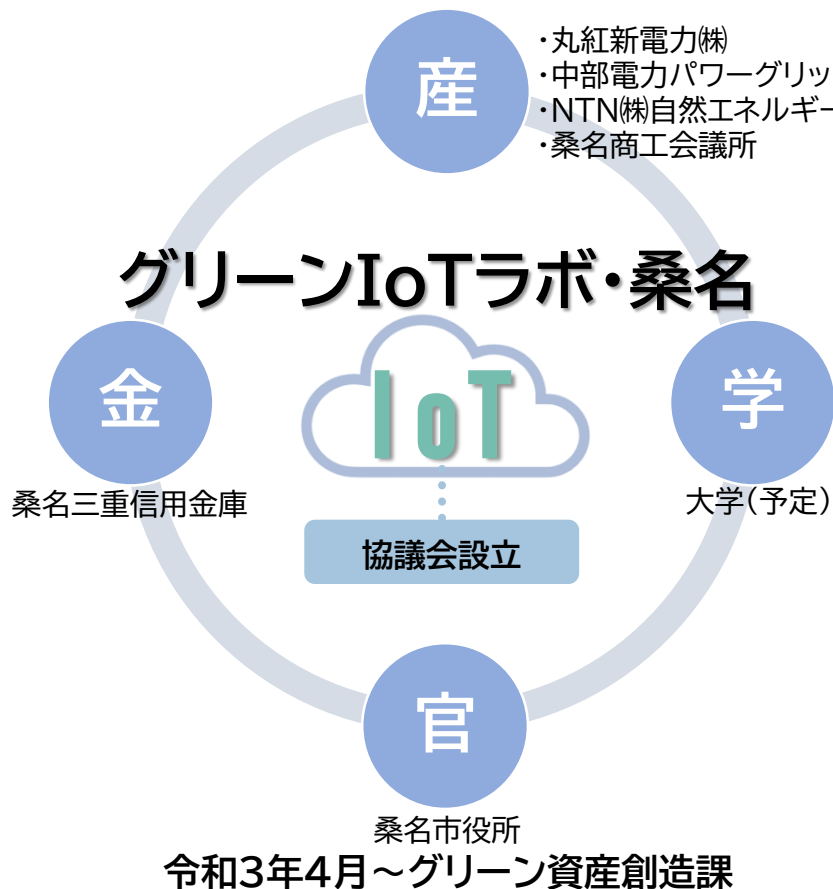
ゼロカーボンシティの実現

中長期目標

短期目標

～できることから取り組みを～

# ゼロカーボンシティの実現に向けて



市の環境と経済の好循環を生み出す、  
持続可能なまちづくり



# ゼロカーボンシティの実現に取り組む団体

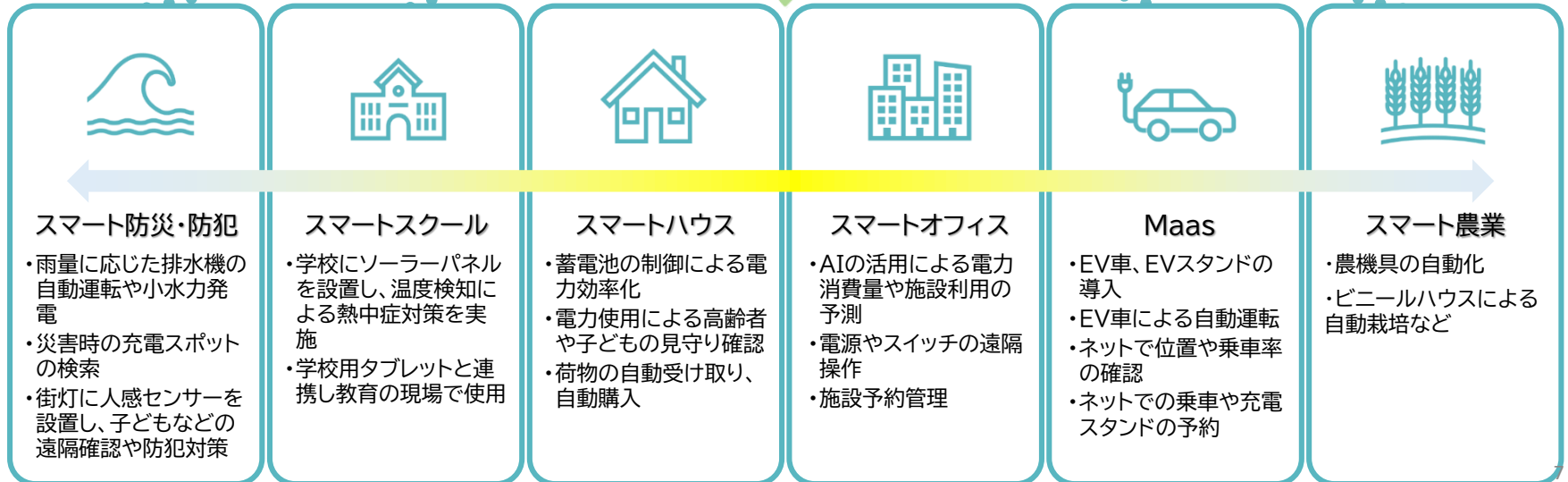
## グリーンIoTラボ・桑名

—IoTによるゼロカーボンシティの実現—

誰ひとり取り残さない持続可能なまちづくりを目指すため、IoTを活用しゼロカーボンシティの実現を目的とする



## グリーンIoTラボ・桑名



# ゼロカーボンシティの実現に向けて

想定スケジュール

令和3年度中期

STEP 1

## 電源

木曾岬メガソーラー



地産電気

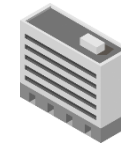
## 小売販売

丸紅新電力株式会社



## 市内利用者

桑名市本庁舎



電力の  
地産地消



令和3年度後期

STEP 2

一般家庭(卒FIT)



一般家庭



CO2フリー  
電気

〇〇電力会社



■■電力会社



etc

その他市内公共施設



地元企業



市民



脱炭素化

CO2  
0

順次

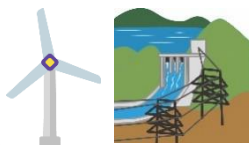
STEP 3~

電気自動車(EV)



EV電力の活用

その他グリーンエネルギー



再生可能エネルギーを活用した  
グリーン社会の実現  
(ゼロカーボンシティ)

桑名市全体



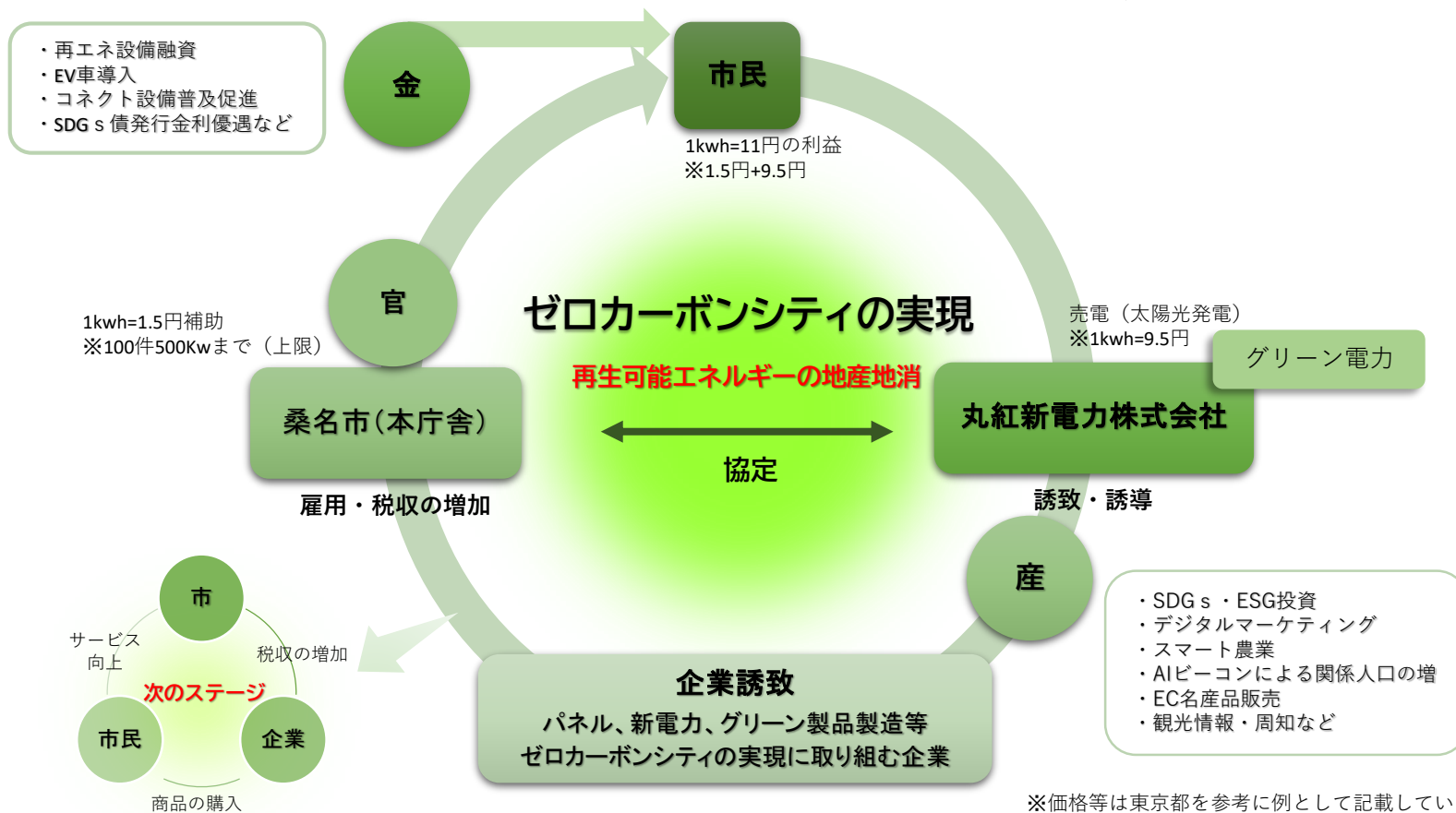


# 好循環を生み出す社会の実現に向けて

## 取り組み内容

公共施設（本庁舎から）再生可能エネルギー100%へ

～好循環を生み出す社会の実現に向けて～



※価格等は東京都を参考に例として記載しています

# 多世代共生型施設(仮称:福祉ヴィレッジ)の 整備が始まります



本物力こそ桑名力



# 多世代共生型施設(仮称:福祉ヴィレッジ)の整備が始まります



本物力こそ桑名力

## 【事業の枠組み】

- ◆保育所
- ◆療育センター
- ◆養護老人ホーム
- ◆母子生活支援施設
- ◆障害者生活介護

+

公園



福祉サービスを提供している施設を複合化した、多世代交流・多機能型の福祉拠点を公園と一体的に整備し、利用者同士の交流や利用者と地域とのコミュニケーションが促進される「**地域共生社会**」を具現化していくことを目指す。

# 多世代共生型施設(仮称:福祉ヴィレッジ)の 整備が始まります

## 【実施体制】

### 「公民連携」の推進

- ・多世代共生型施設の整備・運営については、事業者から提案を公募し、審査のうえ選定した実施事業者が行います。

	多世代共生型施設	公園
整備・運営	社会福祉法人 桑名市社会福祉協議会	桑名市
設計・施工	大和リース株式会社	大和リース株式会社

# 多世代共生型施設(仮称:福祉ヴィレッジ)の 整備が始まります



本物力こそ桑名力

## 【外観イメージ】

西方向から



南東方向から



※ 現段階のイメージであり、  
確定したものではありません。

# 多世代共生型施設(仮称:福祉ヴィレッジ)の 整備が始まります

## 【今後の予定】

- ・令和3年4月7日(水) 10時から **起工式**(現地にて)
- ・令和3年度 多世代共生型施設・公園の**整備工事**
- ・令和4年度 多世代共生型施設・公園の**運営開始**





# 子ども家庭総合支援拠点 桑名市子ども総合センターを設置し ます！



# 桑名市の現状と課題

## 【現状】

### (1) 児童虐待相談件数

令和2年12月末現在 180件(令和元年度実績150件)

### (2) 発達検査数

令和元年度発達検査数 742件

## 【課題】

(1) 児童虐待相談が増加する中、母子保健と児童福祉の更なる連携を図り、妊娠期からの見守りを強化し、切れ目のない支援体制づくりが必要。

(2) 発達検査を希望する人は年々増加しており、現状は予約が取りづらい状況となっている。また、保育所(園)などへの巡回指導も必要。



# 子ども家庭総合支援拠点とは

(1)平成28年の児童福祉法改正により、各自治体に設置が義務付けられた。(努力義務)

国はこの法的根拠を基に、令和4年までに全市区町村に設置する方針を示している。

(2)地域のすべての子ども・家庭の相談に専門性をもって対応すること、地域資源を有機的につなぐことなどが求められている。



# 桑名版！子ども家庭総合支援拠点 の特徴

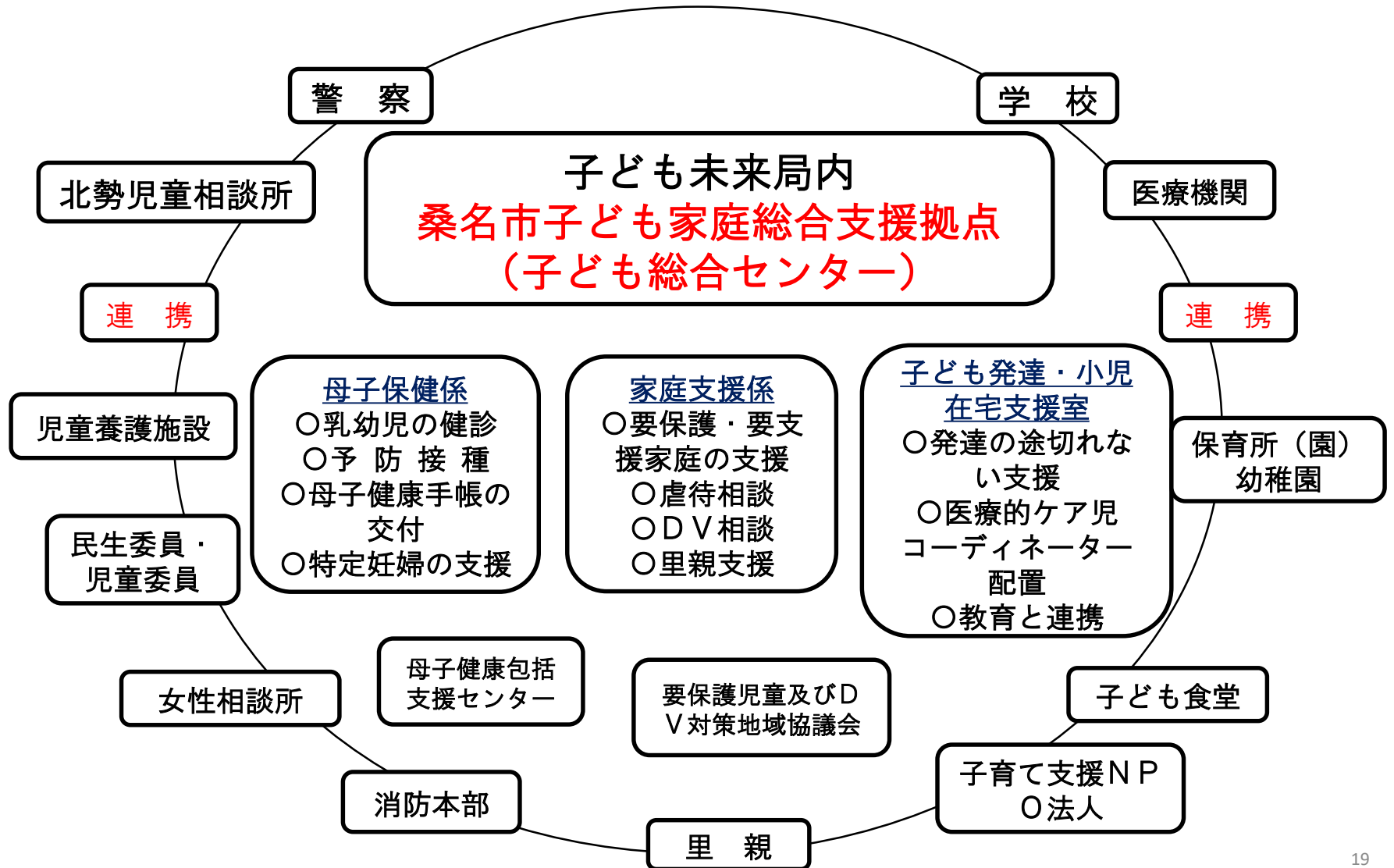
- (1) 母子保健分野と児童福祉分野を同じセンター内に配置⇒**妊娠期から子育て期までの途切れのない支援を行う「子ども総合センター」を設置**
- (2) 発達が気になる子どもの支援を強化  
⇒**センター内に「子ども発達・小児在宅支援室」を設置し、就学前の相談を一元化、発達検査の時間短縮、保育所（園）への巡回指導強化**
- (3) 医療的ケアが必要な子ども及び保護者の支援  
⇒**医療的ケア児等コーディネーターを配置して、医療的ケア児のレスパイト実施**

コーディネーターは県内初！

# 子ども家庭総合支援拠点イメージ図



本物力こそ桑名力



新型コロナワクチン接種 高齢者はかかりつけ医で個別接種

## 「桑名市モデル」のワクチン配送体制

地元タクシー協会協力のもと  
タクシーで配送します

基本型接種施設（桑名市役所）から各医療機関へのワクチン配送はタクシーで行います。

### 【タクシーに決めた理由】

- ①タクシーは小回りが利き、多くの医療機関を回ることができる
- ②配送のための台数確保と、柔軟な配送計画が可能
- ③新型コロナウイルス感染症の影響で、厳しい地元タクシー業界の支援

# ワクチンの配送イメージ

## 基本型接種施設

市役所や基幹病院



市役所



## 地元タクシー協会

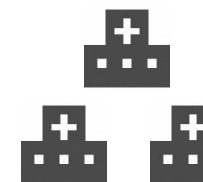
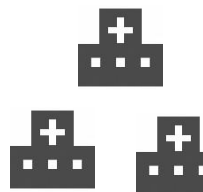
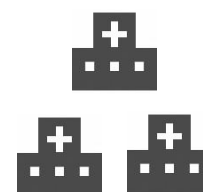
10台程度配備(最大)



週2回(火曜日・金曜日)  
1日2回(午前・午後)  
タクシーが配送(原則3時間以内)

## 各医療機関

市内約60カ所  
を想定



市内3つのエリアに分け、  
ルート3〜5医療機関を配達予定

コロナワクチン

国から必要数が届く

各医療機関に必要な数を分配

ワクチンは5日以内で使用

## ■ 高齢者施設から接種を開始

4月から始まる高齢者（65歳以上）への新型コロナウイルスワクチンの接種については、高齢者施設から開始します。

桑名市への4月分の高齢者向けのワクチンは、現在、2箱です。これは、65歳以上の高齢者約37,500人の2.6%しか供給見込みでないことから、まずは、クラスター（感染者集団）抑止を優先する観点から、高齢者施設からのワクチン接種を開始することとしました。

## ■ 高齢者向けワクチン無料接種券送付見込み

当初、国からのスケジュールで3月下旬ごろにワクチン無料接種券を送付する予定で桑名市は準備を進めてきましたが、ワクチン供給予定が遅れたことにより、高齢者接種の見通しが立てられない状況です。

国のスケジュールでは5月ごろからワクチンの供給量が安定的となることから、桑名市は4月中旬以降に無料接種券を送付する予定で進めています。

※あくまでも5月に安定的にワクチンが供給がされることが前提です。